

のうじでんそう

農時電送

R3 水稻

No.臨時版

JA新函館・若松支店
せたな地区水稻部会

JAきたひやま

北檜山町農協地区水稻部会

JAいまかね

今金町稲作部会

檜山農業改良普及センター
檜山北部支所 (84-5514)

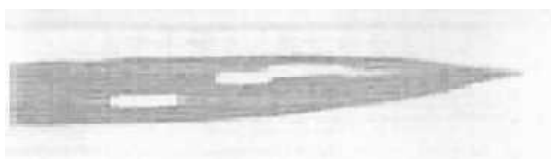
イネミギワバエに注意！！

道南農業試験場でイネミギワバエの初発が確認されました。平年より22日早い5/14となっています。檜山北部管内の発生も警戒してください。

**水深を深くすると浮き葉が多く、産卵しやすくなります。
低温・強風日を除き、浅水で管理しましょう。**

【幼虫】

体長約4mmのウジ
幼虫は直線状に食い込み、
被害部は袋状になる。



幼虫の食害痕

【成虫】

体長：約2.5mm
頭：暗灰色 顔：黄色
体：青灰色



イネミギワバエ(成虫)

◎移植後の水管理

27日気象庁発表の1ヶ月予報の平均気温は、平年より「高い」予報です(北海道日本海側)。天候に合わせ、3つのポイントを意識したほ場管理を行いましょう。

〈今後のポイント〉

1 まずは浅水管理を！活着を促進させましょう

水深が深いとイネを低温・強風から守る反面、活着を遅らせます。今後の天候を踏まえて、浅水管理に切り替えましょう。

2 水深は1～3cmを目安に水温・地温を上昇させましょう

水温と地温を高めることが茎数の増加に繋がります。水深を浅くすること、入水は夜間～早朝、日中止水の徹底で日中水温25℃以上を確保しましょう。

3 除草剤は散布時期を逃さないように！

気温上昇により、ヒエなど雑草の生育が進むことが予想されます。雑草の発生状況を確認し、除草剤を早めに散布するようにしましょう。

農作業安全・事故防止！ 農薬の安全使用の徹底！